

平成28年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）				整理番号	6 - 4 - 15
事務事業名	認定こども園運営事業			担当課係	児童福祉課
総合計画上の位置付け	大項目	2. 「安心」のまちづくり		記入担当者	
	中項目	①その人がその人らしく住める地域社会		内線等	
	小項目	5. 地域において安心して出産し、子育てできる環境の整備		E-mail	
事業の実施主体	市（委託・補助事業含む）			事業区分	経常事業
事業予算費目	款	3	民生費	項	3 児童福祉費
	目	5	保育所費	事業	04公立施設等運営費・05公立施設等扶助費・07私立認定こども園運営費等
開始年度	H28	年度	根拠法令・要綱等	子ども・子育て支援法、就学前の子どもに関する教育、保育との総合的な提供の推進に関する法律	

事業の対象	(誰の、何のために事業を実施するのか) 子ども・子育て支援法に基づいて開設した認定こども園
事業の目的 (意図)	(事業実施によってどういう状態にしたいのか) 大幅な定員割れや小規模化が進んでいる幼稚園、保育所を機能統合することにより、運営効率や集団教育・保育の場の確保の両面で適正化を図り、保育所等から転換した認定こども園に対する運営費負担や必要経費を支出し、安定的な施設運営ができる仕組み作りを目的とする。
事業の内容 (内容・手法等)	(こういった仕事の内容で、どのような手法・手順で実施しているか) 施設の通常利用における幼児教育・保育を提供するとともに、地域の実情に応じて保護者のニーズに沿った子育て支援事業（子育て相談や親子の交流の場の提供など）を展開するため、私立施設に対する施設型給付費や運営補助金等の公的支援、公立施設における運営にかかる経費を計上する。
事業の背景 (経緯等)	(事業開始の背景やこれまでの経緯) 認定こども園は、幼稚園及び保育所等における小学校就学前の子どもに対する保育・教育及び地域の子育て家庭に支援を行う総合的な施設であり、急速に進みつつある少子化の進行や家庭を取り巻く環境の変化などから多様化するニーズに応えるため、平成18年10月から創設された。

■事務事業の業績・推移（目標・実績）

		指標名			指標の説明			指標化できない成果
		市内の公立・私立認定こども園入所児童数			市内の公立・私立認定こども園に入所している全児童数			
成果指標	単位	H27	H28	H29	H30	目標年度 目標値		
	人	目標	335	440	440			
		実績		349				
		達成度		104.2%				
活動実績・参考となる指標	指標名	単位	H27	H28	H29	H30	指標の説明	
			計画					
			実績					
			計画					
			実績					
			計画					

■事務事業に係るコストの業績（目標・実績）

（単位：円）

		27年度決算	28年度決算	28年度予算	29年度予算
全体コスト（円）	A 直接事業費	0	191,223,438	276,026,000	313,570,000
	財源内訳		128,460,888		
	国県支出金				
	地方債		0		
	利用者負担		0		
	一般財源		62,762,550		
	B 人件費 ①×②	0	604,549		
職員平均人件費①		6,045,487			
従事した割合②/人		0.10			
A + B	0	191,827,987			
単位コスト	活動指標の説明		広域利用を含む公立・私立認定こども園入所児童数 353人		備考
	活動指標1単位当たりコスト		543,422		平成27年4月1日現在 人口39,866人
	市民一人あたりのコスト	0	4,874		平成28年4月1日現在 人口39,358人

■事業を取り巻く環境

国・県・他団体の動向や環境変化と今後の予測	(社会状況、法改正、規制緩和、周辺の状況等や今後の予測) 全国的にも待機児童対策、人口減少による集団教育・保育の場を確保するため認定こども園は増えつつあり、本市においても「小松島市における就学前教育・保育のあり方について」を策定し、公立幼稚園、保育所の統廃合を含めて認定こども園の整備を推進しているところである。
事業に対する住民の意見	(意識調査・議会質疑等、事業に対する期待・要望・苦情など) 認定こども園の早急な設置を求める意見が多く出されている。また、保護者の認定こども園が担う役割への期待も大きい。

■項目別評価・今後の課題

評価項目	評価結果 (該当にチェック)	判断理由・評価コメント (具体的に記入すること)
必要性 (市民ニーズ)	<input type="radio"/> ① 必要性が高い	認定こども園は、就学前の子どもに対する教育及び保育並び保護者に対する子育て支援を総合的に提供する機能を備えた施設であり必要性が高い。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば必要性がある	
	<input type="radio"/> ③ 必要性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必要性がない	
妥当性 (市で行わなければならないか)	<input type="radio"/> ① 市が行わないといけない	子ども・子育て支援法第27条において、私立認定こども園は支給認定保護者に代わって市町村から施設型給付費を法定代理受領する仕組みとなっていることから市で行うものである。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば市で実施	
	<input type="radio"/> ③ 必然性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必然性がない	
効率性 (事業の手法は効率よいが、コスト削減の余地はないか)	<input type="radio"/> ① 効率的である	認定こども園は教育・保育を一体的に行う施設で、幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持つ施設であり、子育て支援の様々なニーズに応じた子育て支援が行えるものであり、効率性がある。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば効率的	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば非効率的	
	<input type="radio"/> ④ 非効率的	
緊急性 (他事業に優先し、実施する必要があるか)	<input type="radio"/> ① 緊急性が高い	保護者の就労形態の多様化、家族形態及び家庭環境の変化により就学前の教育・保育へのニーズも多種多様化している。認定こども園はそれらに対応する新たな選択肢として期待されているものであり、国により加速的に推し進められているものである。
	<input type="radio"/> ② 比較的緊急性がある	
	<input type="radio"/> ③ 緊急性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 緊急性はない	
成果 (目的の達成状況)	<input type="radio"/> ① 成果が上がっている	平成28年度において、公立では坂野幼稚園と坂野保育所が合併し、さかの認定こども園となり、私立の保育所ではこまつま健康会認定こども園、花しんばり子ども園として認定こども園の認可を受け平成28年4月1日より運営を開始している。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば上がっている	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば上がっていない	
	<input type="radio"/> ④ 成果は上がっていない	
今後の課題	今後児童数の減少が進んでいくことは確実であり、今以上に幼稚園の大幅な定員割れ、保育所の待機児童数の減少が予測される。また、公立施設の老朽化も進んでおり、施設の新設を含めてニーズに応じた受け入れ体制を整える必要がある。	

■一次評価 (評価点は目安とし、総合的な評価をすること)

評価	事務事業の方向性	1 拡 充 す る	80 点 以上	評価点による判定	判定に至った理由
		2 現状のまま継続する	60 ~ 79 点		
2	3 改善・効率化し継続	40 ~ 59 点	1	86	幼稚園と保育所では、保護者の就労の有無で利用する施設が限定されてしまうことや、少子化が進む中、幼稚園と保育所が地域に別々に設置されていると子どもの成長に必要な規模の集団が確保されにくいこと、子育てについて不安や負担を感じている保護者の方への支援が不足しているなどの課題があり、それらに対応していくために、新しい制度枠組みの認定こども園が今後も必要である。
	4 終期設定し終了	20 ~ 39 点			
	5 完了・休止・廃止	19 点 以下			

■改善・効率化の方向性 ※一次評価の判定が3の時は、必ず記入すること。

【具体的な改善等取組内容 (方向性・対象・手段等について記述)】

■二次評価 (所管担当の一次評価を、総合評価し判定すること)

評価	事務事業の方向性	1 拡 充 す る	判定説明
		2 現状のまま継続する	
2	3 改善・効率化し継続	1	小松島市では、将来児童数が大幅に減少することが予測されることから、平成27年9月に策定された「小松島市の就学前教育・保育のあり方について」において、就学前のすべての児童に質の高い教育・保育を提供するために、幼保一体化を目指した認定こども園の開設が必要であることが示されたため、今後さらに認定こども園への移行及び、幼稚園・保育所の統廃合が増加することとなるため事業継続が必要である。
	4 終期設定し終了		
	5 完了・休止・廃止		